

Linda Kreitzer

リンダ・クライツァー博士 略歴

クライツァー博士は1976年から1994年まで、米国と英国でソーシャルワークを実践しました。1994年から1996年までレゴンのガーナ大学でソーシャルワークを教えました。ガーナのブドゥブラム難民キャンプでソーシャルワーク実習と論文のデータ収集を行い、カルガリー大学でソーシャルワーク修士号を取得しました。1999年から2000年まで、彼女は米国赤十字社に勤めました。

2004年にカルガリー大学で博士課程を修了し、アフリカにおけるソーシャルワークのカリキュラムの可能性を探しました。以来、アフリカでのソーシャルワークに引き続き関わっています。現在彼女はカルガリー大学（中央部または北部オフィス）の社会事業学部で教授として教えていますが、国際的な先住民問題、地域社会の実践、ソーシャルワークにおける自己の専門的関わり方、国際的ソーシャルワークと移民難民問題などを教育と研究の対象としています。彼女の本である「アフリカでのソーシャルワーク：ガーナにおける文化関連性を持つソーシャルワークと実践の探究」は2012年に出版されました。その他の書籍として「降り続く雪の中に倒れる：カナダのヘルスケア専門家たちの共感疲労の経験とシェルパのバックパック：国際的ソーシャルワーク実践の交換と留学プログラムのガイド」があります。彼女は現在、国際的ソーシャルワークスクール協会の取締役会に在籍しています。



IASSW に関する私のビジョン

私の名前はリンダ・クライツァーです。私は過去四年間、IASSW（国際ソーシャルワークスクール協会）の理事会の特別役員として活動して来ました。私は、この組織が世界のソーシャルワークコミュニティと IFSW（国際ソーシャルワーカー連盟）と ICSW（臨床ソーシャルワーク研究所）の二つの国際機関との関係にどのように適合しているかについて、非常に多くのことを学びました。ご想像できるかと思いますが、私が理事会にいる間 IASSW がどのように動いているかを把握するのにかなりの時間がかかりましたが、私たちは戦略計画プロセスを通じて、定期的に組織の将来を見てきました。

関心のある分野

私の委員会での仕事は、出版委員会、教育委員会、世界国勢調査委員会の三つの分野に分かれます。私は出版委員会の会長を務めましたが、出版委員会は利益を助けるソーシャルワーク教育の書籍を出版し、販売もしています。また、教育委員会としては、理事会後に開催されたミニワークショップをサポートし、ベトナムで能力開発に携わったミニワークショップへのサポートも提供し、年間を通して資金を提供する国際プロジェクトの選定に定期的に参加しました。私は、ミニワークショップ開催のためのガイドライン作成を手伝い、取締役会議の開催と場所など方針と手順の再考に携わってきました。これには、ビジネスミーティングの行い方、取締役会へのフォローアッププロセス、および新メンバーの紹介が含まれます。

IASSW への私のビジョン

私は、この仕事を理解し始めてまだ浅いので、これらのそれぞれの分野で仕事を続けたいと思っています。ソーシャル・ダイアログの成功は継続しており、今後の課題は、雑誌が財政的に支援するように広告を確保することです。他の IASSW の刊行物が実用化されており、より多くの出版物への関心を引くためには、委員会を通じて奨励する必要があります。

私はまた組織のさまざまな分野で、私たちのガイドラインのいくつかを強化して行きたいと思います。最も重要なのは、組織としての未来を見据えると、今後 10 年先まで IASSW とソーシャルワークのために世界に向けて道を築いて行くという希望が見えます。私はこれに関わることを楽しみにしており、IASSW とのこの重要な使命を遂行していくために引き続き特別役員として迎えていただけることを願っています。

敬具

リンダ・クライツァー